平成 22 年 12 月 15 日
大隅河川国道事務所

記者発表資料

「情報化施工現場見学会を開催」

～鹿児島２２０号古江バイパス古里地区改築工事！！～

日頃より大隅河川国道事務所へのご理解ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。
現在、当事務所で、古江バイパスの「鹿児島２２０号古江バイパス古里地区改築工事」で情報化施工を進めておりますが、今回、準備が整いましたので、施工業者等を対象に現場見学会を実施します。

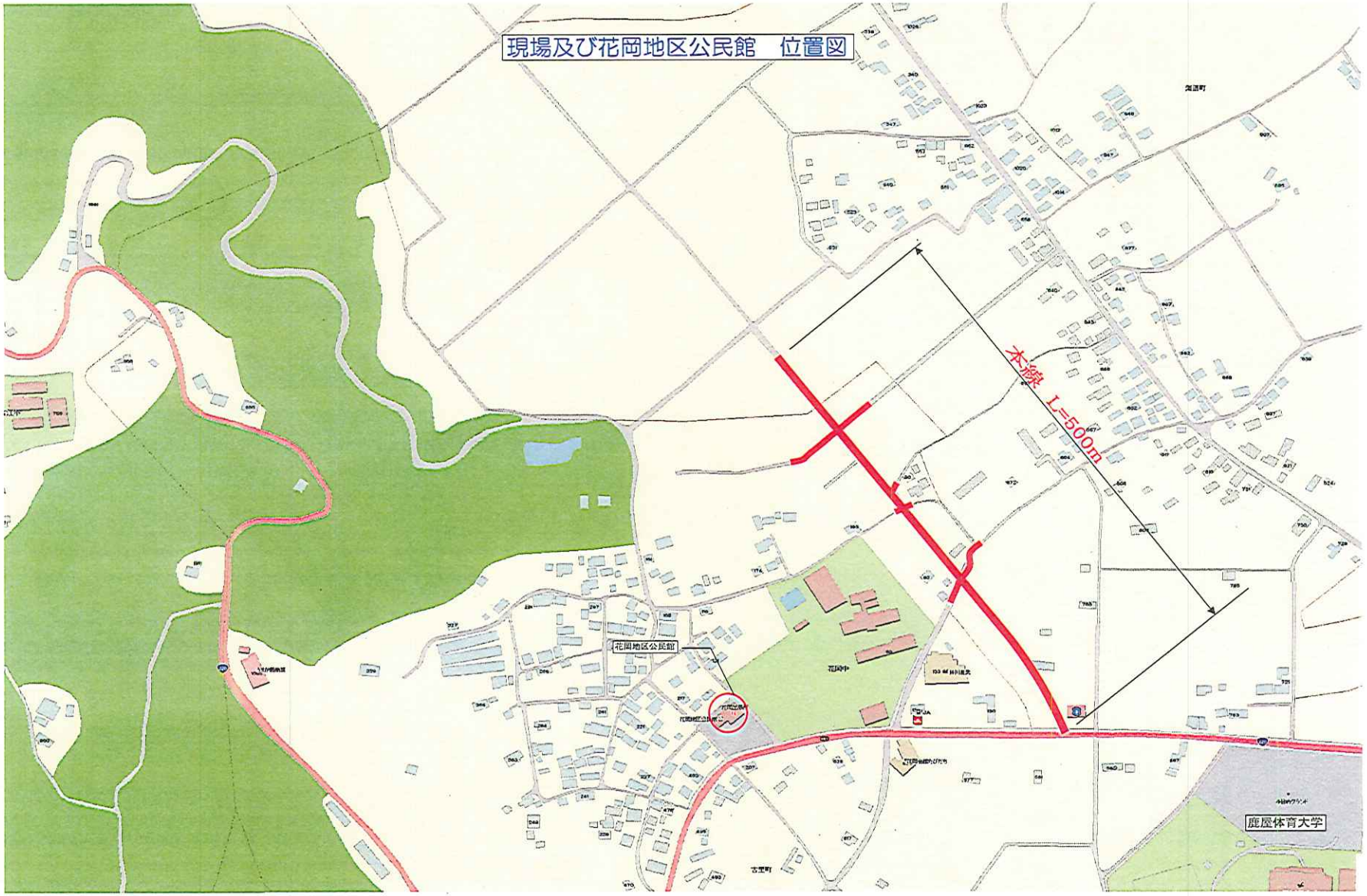
日　　時：平成 22 年 12 月 17 日（金）１４：00～2 時間 30 分程度
場　　所：鹿児島県鹿屋市古里町（花岡地区公民館で概要説明）別紙地図
主　　催：大隅河川国道事務所
概　　要：情報化施工の現場見学会
　　１）　情報化施工の概要説明（花岡地区公民館）14 時～15 時まで
　　２）　工事現場での説明（古江バイパス工事現場）15 時 15 分～16 時

問い合わせ先：国土交通省大隅河川国道事務所
品質確保課 渡辺　政己
永岡　圭二
電話 0994－65－2998　　ＦＡＸ 0994－31－5200

情報化施工とは、建設事業における「施工」において、情報通信技術（ＩＣＴ）の活用により、各プロセスから得られる電子情報をやりとりして、高効率・高精度な施工を実現するものです。
施工で得られる電子情報を施工後の維持管理等に活用することによって、建設生産プロセス全体における生産性の向上や品質の確保を図ることを目的としたシステムのことで、海外では土工や舗装工事等で普及しています。（別紙・・・イメージ図）

記者発表に関する問い合わせ先

国土交通省　九州地方整備局　大隅河川国道事務所
鹿児島県肝属郡肝付町新富１０１３－１
電話（０９９４）６５－２５４１
広報担当　建設専門官　　濱崎　徹（内線４０１）


現場及び花岡地区公民館　位置図
本線　L=500m
花岡地区公民館
鹿屋体育大学

情報化施工について

建設事業を取り巻く課題

生産性向上の必要性
・建設業の労働生産性は製造業の約6割

少子高齢化（熟練者不足）
・50才$_{以上}$の構成比33%(90年)→43%(06年)

建設現場の安全確保
・土木分野の労働災害は全産業の約40%

地球温暖化問題への対応
・土木分野のCO_2排出量は全産業の約10%

情報化施工の効果

国民

コスト縮減 **CO2の削減**
・施工の効率化によるコスト縮減・CO2の削減

工事期間の短縮
・工事に伴う渋滞や騒音・振動などの低減

発注者

施工品質の確保 **コスト縮減**
・高精度な施工により高品質、コスト縮減の確保

監督検査の合理化・確実性の確保
・設計データと施工データを即時な比較により監督検査を合理化

効率的・効果的な管理支援
・施工データと供用後の経年変化の比較として活用可能

受注者

施工効率の向上
・設計データを基に自動制御することによる施工効率の向上

事故の減少 **施工品質の確保**

技術競争力の強化
・高い品質、工期短縮が可能なことから技術競争力強化に有効

施工を取り巻く状況の変化

ICTの進展とイノベーションの推進
・国土交通分野ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ推進大綱（情報化施工の推進を位置付け）

品質確保・監督検査の重要性に対する認識
・品質確保、施工プロセス検査等

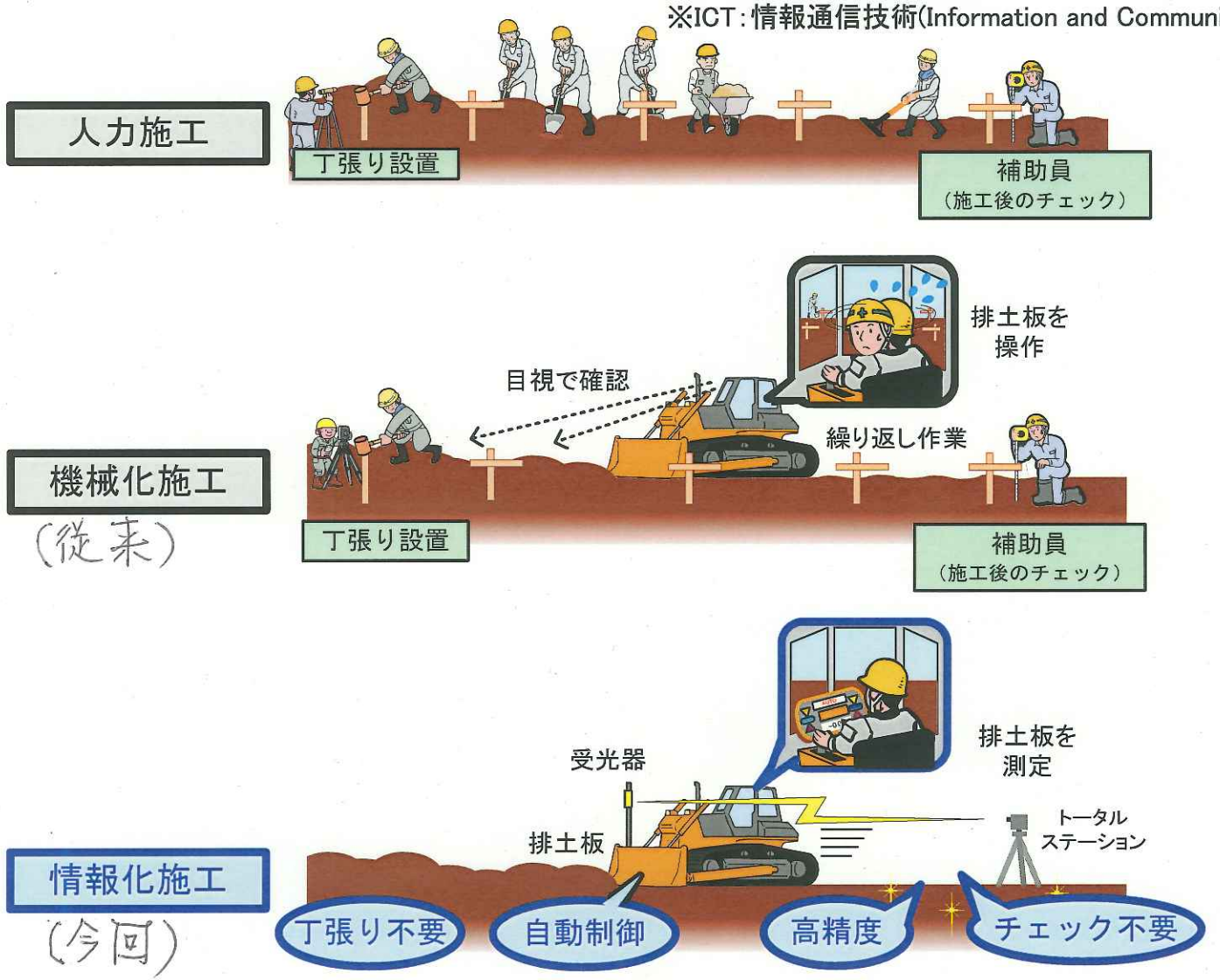
発注環境の変化
・一般競争入札、総合評価方式等

海外において情報化施工が普及
・特に土工、舗装工等で普及

「情報化施工推進戦略」の策定 （平成20年7月）

建設施工のイノベーションを実現する情報化施工の戦略的な普及方策が必要

情報化施工のイメージ（例：3次元マシンコントロール）

機械化施工にICTや制御技術、測量技術を融合した「建設施工革命」

※ICT：情報通信技術(Information and Communication Technology)